

令和3年春の叙勲伝達式及び在外公館長表彰式の実施

5月19日、令和3年春の叙勲伝達式及び在外公館長表彰式がマリンガ文化体育協会において実施され、エリザ・ミチエ・シオザキ氏が旭日小綬章、潮崎明芳氏が旭日双光章を受章されたほか、マリオ・ヤツガフ氏が在外公館長表彰を受賞されました。

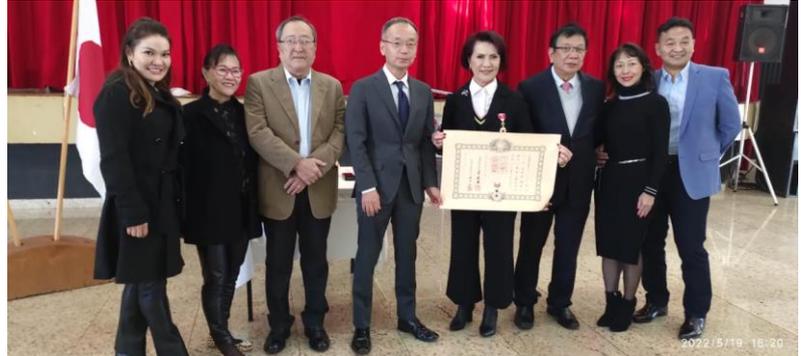
叙勲伝達式

1. エリザ・ミチエ・シオザキ氏の功績

マリンガ市にあるフランシスコ・シャヴィエル学校校長として、日本語学習、日本文化や日本人ブラジル移民の歴史の紹介等を通じて、同校の生徒に日本の多様な文化や慣習に触れ合う機会を提供し、長年に亘り当地における日本語及び日本文化の普及に尽力している。また、同校には日系人の教師や生徒が多く存在するため、日本での出稼ぎから帰国した家庭の子女を広く受け入れ、ブラジル社会に適応できるようサポートを行っており、日伯両国間の交流や友好親善の促進に貢献している。加えて、マリンガ文化体育協会会長夫人として、毎年兵庫県加古川市から友好訪問団が訪伯する際には、夫である同協会会長とともに接遇役を務めているほか、平成30年に眞子内親王殿下がマリンガ市を御訪問された際には接遇側において中心的な役割を務め、御訪問の成功、ひいては両国の友好親善の増進に貢献した。



叙勲受章者と濱田総領事



叙勲受章者及びご親族と濱田総領事

2. 潮崎明芳氏の功績

マリンガ文化体育協会の役員として、長年に亘り地域社会の融和と日本文化・日本語の普及等に貢献。平成24年以降は会長として、同協会が例年開催する「運動会」や「文化祭」といったマリンガ市でも有数の日本関連行事を成功裡に運営しているほか、平成27年に秋篠宮同妃両殿下、平成30年に眞子内親王殿下がマリンガ市を御訪問された際には、現地日系社会の接遇側の中心として重要な役割を果たした。また、移民100周年記念事業として行われた、南米最大の日本庭園を有するマリンガ日本公園の設置において中心的な役割を果たし、完成後も日本庭園の維持・管理のため各所との調整に奔走。同公園は現在ではパラナ州内外から旅行者を集める人気の観光地となっており、対日理解の促進と日本文化の普及に貢献している。



叙勲受章者と濱田総領事



叙勲受章者及びご親族と濱田総領事

在外公館長表彰

マリオ・トシオ・ヤツガフ氏の功績

長年に亘り、マリンガ文化体育協会教育部長、副会長及びマリンガ地区日本語学校協会会長としてパラナ州における教育及び日本語のみならず、日本文化普及に尽力している。また、マリンガ市高齢者人権擁護局にも携わった他、和順会を通じて35年間以上に亘り、日本人及び日系人の高齢者福事業にも大きく貢献している。



ヤツガフ氏と濱田総領事



ヤツガフ氏、ご親族及び濱田総領事



受章者の皆さま